



イベント収益を町のために

南洋ビルサービス(株)が寄付金贈呈



前後町長に寄付金を手渡す鎌倉総支配人(左)

グランドサンピア猪苗代リゾートスキー場を運営する南洋ビルサービス株式会社(小沼純一社長)は6月19日、東日本大震災からの復興に役立ててほしいと、町に10万円を寄付しました。

この寄付金は、6月2日に同ホテルで開いた「復興ライブ三沢あけみオン・ステージ」の収益の一部。町役場を訪れた鎌倉健一総支配人が前後公町長に善意を手渡しました。

前後町長は「町の復興のため、有効に使わせていただきます」と感謝の言葉を述べました。

古里離れ頑張る生徒のため

ライオンズクラブが支援金を贈呈



支援金を贈る阿部信夫ゾーンチェアパーソン(左)

ライオンズクラブ国際協会332-D地区第4リジョン第1ゾーンは6月20日、猪苗代高校サテライトで活動する富岡高校バドミントン部と富岡一中の生徒で構成する猪苗代中学校特別バドミントン部に活動支援金76,640円を手渡しました。

贈呈された支援金は、会津若松、猪苗代、磐梯、田島の4市町のライオンズクラブ8クラブで構成する同ゾーンで開催した、チャリティボーリング、ゴルフ大会で参加者から募った善意。

富岡高校の桃田賢斗主将は「皆さんへの恩返しのためにも、インターハイで優勝します」と力強く感謝の言葉を述べました。

仲間と一緒に心地よい汗を

第32回高齢者スポーツ大会を開催



豚追い競走でラグビーボールを上手に転がす参加者ら

町高齢者スポーツ大会は6月15日、カメリーナで開催されました。町と町老人クラブ連合会が主催するこの大会には、町内6地区から約250人が出場、各地区の参加者から仲間に対する声援が上がり、カメリーナ中に響き渡りました。

参加者らは、1人のモデルをみんなで着替えさせる「ファッションショー」、キンボールという大玉を転がす「キン転がし」やラグビーボールを棒で転がして進む「豚追い競走」など12種目に挑み、仲間たちと一緒に心地よい汗を流しました。

地区別では、月輪地区が優勝を果たしました。

新明俊廣さん県大会3位に

グラウンドゴルフ大会入賞を報告



左から本多さん、新明さん、前後町長、小林会長

猪苗代町宝の山グラウンドゴルフ協会の新明俊廣さんは6月20日、同協会の小林元一会長、事務局の本多努さんとともに町役場を訪れ、第20回ねりんぴっく福島グラウンドゴルフ大会での入賞を報告しました。

5月24日に会津大学グラウンドで開催された同大会には、男子の部328人、女子の部178人が参加。新明さんは、男子の部で3位入賞を果たしました。

10月に宮城県で開催される全国大会に出場する新明さんは「全国大会でもベストを尽くしたい」と抱負を語りました。

町勢の伸展への尽力に感謝

議会議員などの功績に感謝状贈呈



前後町長から感謝状を受け取る大橋さん(中央)

町の感謝状贈呈式は6月20日、町役場正庁で執り行われ、町の発展に寄与した前町議会議員らに感謝状が贈られました。

表彰を受けた皆さんは次のとおりです(敬称略()内は前職名)。大橋清喜(町議会議員)、渡辺二公(同)、江花利和(社会教育委員)、五十嵐美春(農業委員)、小林功(同)

前後町長は5人に感謝状を手渡した後、「町の発展にご尽力いただきありがとうございました。町のさらなる発展のため、これからもご協力お願いします」とお礼の言葉を述べました。

緑に囲まれさわやかに力走

町民健康マラソン大会で健脚競う



大会で一番参加者が多かった親子競争キッズの部

24年度の町民健康マラソン大会は6月24日、亀ヶ城公園で開かれ、小・中学生を中心に388人が健脚を競いました。

陸上競技場の改修工事のため同公園での開催となったこの大会。当日は好天に恵まれ、参加者たちは緑に囲まれたコースをさわやかに駆け抜けました。

人気種目の親子競争やリレーマラソンには72組が参加。応援に駆け付けた家族などから盛んに声援が飛びました。

会場では、町食生活改善推進委員らにより豚汁が振る舞われ、選手や応援に訪れた家族たちから好評を博しました。